

品確法改正に伴う総合評価入札の改定について

技術力の向上やダンピング受注の排除など、一定の効果を示した総合評価入札は、平成 18 年度から運用をしてきたが、品確法の改正や建設業界を取り巻く環境の変化に追従し、諸問題点への対応が必要となったことから、2019 年 4 月施行による改正を実施した。

改正の背景

<静岡市の基本データ>

- 格付け A 等級には 10 人程度の企業から 300 人規模の企業までが混在。(企業レベル格差：大)
- 市街地における格付け A 等級工事は、ほぼ全てにおいて総合評価入札を実施 (高い実施率)

<総合評価実施における問題点>

- 土木一式工事 A 等級業者の約 1 / 2 が受注件数ゼロ
- 格付け A 等級業者のうち、総合評価入札の参加資格がない業者が多数
- 企業力を重点評価することで企業規模の小さな業者の脆弱化
- 受発注者双方の事務手間が大幅に増える

<品確法の改正趣旨への追従>

- 公共工事の品質確保と担い手の中長期的な育成・確保の推進
- 適正な利潤確保など、基本理念に沿った発注者責務の遂行
- 多様な入札契約制度の導入・活用 (若手や技能者育成・災害時体制・地域維持など)

<意見徴収>

- 受注者へのアンケート調査
- 市役所庁内会議 (係長級) による事務軽減の検討

<配慮ポイント>

- 一般的に総合評価の評価項目は行政課題克服の解決策として利用されているが、多くの業者に対応を求める (強いる) ことになるので、市域の企業レベルを意識した上で慎重に判断する必要がある。(普及の範囲やスピード、誘導策の強さ、主体性、発注者義務、他の誘導策とのバランスなど)

改正内容

業者育成を意識した評価項目の改正

【市域の企業レベルに合致した評価項目へ変更 (適正な物差し)】

【粗悪業者淘汰型から育成型へ移行】

【評価項目選択型から必須型へ】

国を参考とした評価項目に適合するには、多大なコストや人工を費やすことが必要となり、企業規模の小さな業者にとって厳しい状況であった。同一格付け内の企業レベル格差が大きいことから、企業力重視の評価から品質向上意欲の促進を目的とした工事成績重視型へと移行。企業レベルに合わせた評価項目へ改定。(例えば障害者雇用の評価項目では、法定義務のない業者に対して雇用の実態を評価していた件など)

品質向上意欲の向上

【工事成績重点型の評価項目へ転換】

【評価点の年間固定から個別評価化（一度限化）】

【差を出す検査の実施】（順次対応）

【表彰制度のワイド化（B等級以下・若手女性・担い手事業・業務改善努力）】

差を出す評価を実施することで業者の品質向上努力を数値化させ、年間固定型の評価項目を減らし、工事成績重点型の評価項目とすることで、品質向上意欲を促進させる。

地域の維持管理体制への懸念対応（地元で明るい中小企業による安定受注）

【地域に根付いた業者の活躍促進】

【災害対策法に基づく災害対応準備を評価】

施工能力Ⅱ型については、入札参加条件を緩和し、地域優遇を二段階に設けるなど、地域に根付いた業者の活躍を期待する型式とした。また、災害対策法の指定公共機関が実施する災害対応の準備活動を評価する評価項目を追加した。

新規参入者の拡大

【入札参加要件の見直し】【持ち工事数評価の導入】

参加可能業者の拡大を目的に施工能力Ⅱ型における参加要件の緩和と、持ち工事数評価を加えた

受発注者双方の事務負担軽減

【型式決定の簡略化】【簡易な施工計画の廃止】

難易度による型式決定（難易度判定）を廃止し簡略化。簡易な施工計画書の評価項目を削除することで事務量の軽減を図った。

無理をした入札の防止

【相対評価から絶対評価へ】

【市内企業割合の見直し（無理のない設定値）】

相対評価を減らすことで、無理した入札を減らすように配慮した。また、改善を求める声が多かった市内企業割合は、無理のない設定値を事前設定する絶対評価となるように改善させた。

受注業者規模に合わせた型式

【業者が活躍しやすい型式&評価項目】

型式は工事規模によって決定され、受注業者の規模も型式に沿って揃ってくることから、従前のような標準型に向けて評価項目が増えていくのではなく、施工能力Ⅱ型だけの評価項目が存在するなど、型式ごとの活躍期待値を意識した評価項目とした。

現場の担い手不足対策（担い手育成）

【若手の雇用から配置へ変更（一度限化）】

雇用力の評価から若者の現場配置を評価する変更を行うことで、現場ごとの個別評価化により雇用力の差を最小限とし、若者の現場活躍と次世代育成を促進させる。

【担い手育成事業を求める技術提案】

技術提案2において、担い手育成事業の提案を求め、業者の自発的な活動を推進する

【現場環境改善費（イメージアップ経費）の事業整理】

特記仕様書の5つの事業中、3つ以上の「担い手育成事業」を行うように定め、対象となった建設現場が担い手育成のショーケースとなるように期待している。

<参考> 評価項目対照表

評価項目										
現行 (H29)										
技術提案	1	技術提案1	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
留意工	2	技術提案2	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
留意工	3	施工留意事項検討書(簡易な施工計画)	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	4	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	5	過去の工事成績評定の平均点	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	6	優良企業表彰等を受けた実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	7	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	8	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	9	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	10	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	11	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	12	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	13	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	14	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	15	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	16	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	17	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	18	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	19	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
企業能力	20	過去に行った工事の実績	標準型I型		標準型II型		簡易型I型		簡易型II型	
			配点	配点	配点	配点	配点	配点		
配点合計 (Max)			上限50点	上限35点	上限25点	上限10点	上限8点			

改正 (H31.4~)									
技術提案	1	技術提案1	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
留意工	2	技術提案2	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
留意工	3	施工留意事項検討書(簡易な施工計画)	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	4	企業の施工実績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	5	企業の工事成績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	6	優良企業表彰等を受けた実績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	7	受注件数評価	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	8	配置する技術者の施工実績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	9	配置予定技術者の保有資格	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	10	廃止 表彰は名簿表彰とする。名簿記載は11で評価する。	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	11	優良技術者の配置	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	12	継続学習の実績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	13	若手技術者の配置	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	14	安全教育等の取組状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	15	登録基幹技能者の配置	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	16	災害に強いまちづくり	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	17	ライフラインの保全	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	18	建設機械の保有状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	19	ISO9001の取得状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	20	ISO14001又はエコアクション21の取得状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	21	工事事故等による入札参加停止措置等の状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	22	法令違反等による入札参加停止措置等の状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	23	ボランティアの活動実績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	24	障害者の雇用状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	25	地域熟知の状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	26	主たる営業所の所在	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	27	支店、営業所の所在	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	28	市内企業の施工割合	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	29	維持管理業務の実績	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
施工能力	30	保護観察対象者の雇用状況	技術提案型		施工能力I型		施工能力II型		工事登録での評価項目
			配点	配点	配点	配点			
配点合計 ※			44~46	16~20	8.5~12				
必須項目計			44.0	16.0	8.5				
追加可能項目計			2.0	4.0	3.5				

●: 必須項目 ○: 追加可能項目
 ※ 適用の除外がある場合はこの限りでない
 ○: 補正項目